

## ■ 『防災まちづくり』に取り組んでいます！

正親学区は、町家が立ち並ぶなど、京都らしい風情を感じることができる一方、狭い路地や行き止まりの袋路が多く、こうした地域では建物の建替えが進みにくく、地震等の災害時には、**避難や救助に時間がかかったり、火災が燃え広がる**など、防災上の課題を有しています。

こうした状況を改善するため、正親学区では、『**正親学区防災まちづくり委員会**』を立ち上げ、地域の魅力や良さを大切にしながら、安心・安全に住み続けられる災害に強いまちを目指して『**防災まちづくり**』の取組を進めています。地域と行政が連携しながら、地域住民のみなさんと一緒に『**防災まちづくり**』を進めていきますので、今後ともご協力をお願いします。

### 『正親学区防災まちづくり委員会』メンバー

会長	尾崎 富美雄
副会長	小西 征男
副会長	細野 仁志
副会長	川崎 修次
	麻田 恵美子
	西尾 美智代
	田村 成史
	尾崎 和子
	室谷 兼司
	野原 清美
	鈴木 祐樹

## 『防災まちづくり』の進め方（3年間の取組の流れ）

### 現状の把握 [『防災まちあるき』など]

路地の状況など地域の現状を確認し、防災上の課題や災害時に役立つ資源を見つけます。

### 課題の共有 [マップづくり・ワークショップなど]

地域の課題をみんなで共有するために、「防災まちづくりマップ」の作成や、地域の課題について話し合う「ワークショップ（意見交換会）」等を行います。

### 具体的な対策の検討・実行

袋路の2方向避難の確保などの「すぐにできる対策」に取り組むとともに、まち全体の防災性を高めるため、防災まちづくり方針やまちの将来像を検討します。

すぐに  
できる  
対策

- ・袋路の2方向避難の確保
- ・防災ひろばの整備
- ・建物や路地の適正管理 等



まち全体の防災性を高めるために、方針や計画を策定し、取組を進めていきます。

## ■ 『防災まちあるき』を行いました！

10月24日（土）に、計27名の方に参加していただき、第1回『防災まちあるき』を行いました。『防災まちあるき』では、町内の路地や建物などの様子を見ながら歩き、防災上課題となる点を発見し、まちあるき後に振り返りを行い、課題を整理・共有しました。

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！

今回防災まちあるきを行った町内会

<b>ブロック1</b> 新在家町、智恵光院前之町、昭和町、新白水丸町、新白水丸東町	<b>ブロック3</b> 千本京極町、東西俵屋町南組、西陣京極町、西中筋町北組・南組	<b>ブロック6</b> 東西俵屋町北組、福本町、泰童町、革堂之内町、伊勢殿構町
---	---	---



路地の入口に段差があって危ないね

とても狭い道だね

トンネル路地になっているね

各町の地域の集場所を確認！

防災上の課題や必要な取組を再確認！

話し合ったことを発表！

ブロック塀は倒れないようにしないとね

壁に扉をつければ逃げられるね

### 『防災まちあるき』での主なご意見

避難時の集場所や経路を周知することや普段から避難訓練等を行うことが大切。

長年住んでいても知らない路地や建物を知ることができた。

危険な場所や注意すべきところを認識できて有意義だった。

初めて入った路地の道幅が狭かったり、空き家が多かったり危険だと思った。

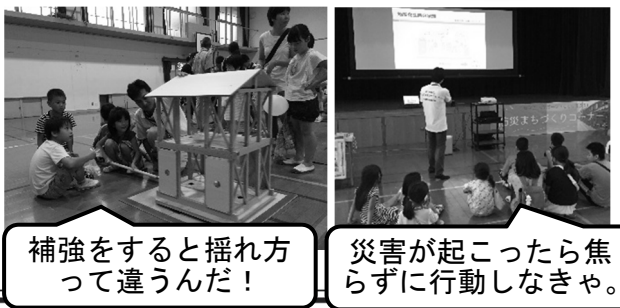
近くの事でも気が付かなかったけど町内分かった。いい企画です。

**次回の『防災まちあるき』は11月14日（土）に行います。ブロック2・3・4のみなさま、ぜひご参加ください！**

詳細は別途、回覧させて頂いている案内をご覧ください！

## ■ 『児童ポーン（こどもまつり）』で「防災まちづくりコーナー」を設けました！

8月24日（土）の『児童ポーン（こどもまつり）』で、地震の怖さや災害時の避難に関する映像を見たり、実際に模型を使って家を揺らしてみたり、子どもたちに『防災まちづくり』について楽しく学んでもらいました。



補強をすると揺れ方が違うんだ！

災害が起こったら焦らずに行動しなきゃ。